

令和2年度 札幌医科大学医学部 カリキュラム概要

令和2年3月9日 教育研究評議会了承

(趣旨)

令和2年度以降入学生に適用するカリキュラムの概要を定める。

(標語)

医学医療に貢献する意欲をもった医師の育成

(基本方針)

(1) 医師として求められる基本的な資質と能力を涵養し、地域や社会のニーズへの問題対応能力や科学的探究心を醸成する。

(2) アウトカム基盤型教育に基づいてカリキュラムを編成し、知識の整理や統合がしやすく、また自主性が配慮されるような構成を目指す。

(教育課程)

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)で求める要件に到達するために計画した授業科目および教科外活動の体系を定める。卒業時まで達成すべき基本的知識・技能・態度のレベルと授業科目との関係性を示し、その内容を多角的に検証して改善を図る。

(教育課程の構成)

目標を設定した教科内容の教授、すなわち学修を中心とする授業科目と、学修者の体験や経験を重視した体験学習、問題解決学習を中心とする授業科目を組み合わせ構成する。

(授業科目の課程群)

教育課程の授業科目は、教養教育科目と専門教育科目に大別する。専門教育科目は基本的事項、基礎医学系科目、臨床学系科目、社会医学系科目、臨床医学実習から構成される。

(課程群における授業科目の選択)

教養教育科目には必修科目、選択必修科目、自由選択科目が含まれる。専門教育科目の基本的事項には必修科目と自由選択科目があり、また基礎医学系科目、臨床学系科目、社会医学系科目、臨床医学実習については全てが必修科目である。

（教育課程表）

課程群、授業科目、学年、入試枠の関係を教育課程表として定める。課程群のうち、教養教育科目と基本的事項については入試枠により必修科目の一部が異なるが、入試枠にかかわらず選択が可能である。基礎医学系科目、臨床医学系科目、社会医学系科目、臨床医学実習は、全科目必修である。

（評価単位）

科目ごとに成績が評価され、学年制による進級判定が行われる。

（授業の回数、時間と単位数）

1コマ90分の授業単位で、1日4コマを基本とする。15回の講義で2単位とすることを基本に科目毎に回数を定める。

（授業時間割）

各学年の時間割は、各科目の授業および試験を効果的に配置して決定する。

（教育方法）

講義、実習（基礎医学実習、早期体験実習、学外の関連施設実習、多職種連携実習、シミュレーション実習、実技チェックリストを用いた臨床実習）、演習（ロールプレイ、課題学習、作業・調査・議論を伴う学習）、グループワーク（PBL チュートリアル、GPC、事例検討）、自習（レポート作成、e-ラーニング、教科書・学術雑誌・ビデオなどによる学習、自主研究）、研究活動（研究室配属、学会発表、ジャーナルクラブ、論文作成）、などを行う。能動的な学習を促すために、多様なメディアを高度に活用した遠隔授業などの教育方法も取り入れる。